

財務諸表(連結)

連結貸借対照表(要旨) (単位:千円)

科目	当期 (2021年8月31日現在)	前期 (2020年8月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,820,071	2,874,347
固定資産	299,712	353,868
資産合計	3,119,784	3,228,215
(負債の部)		
流動負債	1,197,220	1,174,245
固定負債	721,592	864,114
負債合計	1,918,812	2,038,359
(純資産の部)		
株主資本	1,202,549	1,195,363
その他の包括利益累計額	△1,576	△5,507
純資産合計	1,200,972	1,189,856
負債純資産合計	3,119,784	3,228,215

連結損益計算書(要旨) (単位:千円)

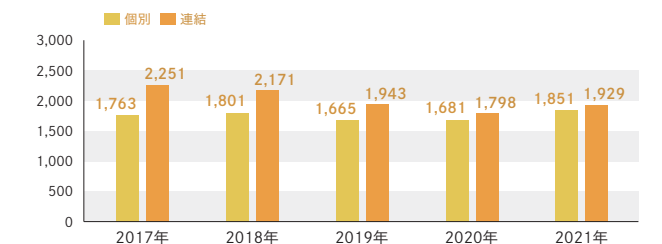
科目	当期 (2020年9月1日から 2021年8月31日まで)	前期 (2019年9月1日から 2020年8月31日まで)
売上高	1,929,357	1,798,549
売上原価	1,039,715	961,732
売上総利益	889,642	836,816
販売費及び一般管理費	842,049	846,397
営業利益又は損失(△)	47,592	△9,580
営業外収益	4,871	4,019
営業外費用	13,636	13,002
経常利益又は損失(△)	38,826	△18,563
特別損失	37,431	102,098
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	1,395	△120,661
法人税、住民税及び事業税	11,876	1,761
法人税等調整額	△17,667	42,414
法人税等還付税額(△はプラス)	—	△13,094
当期純利益又は純損失(△)	7,185	△151,742
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△2,270
親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失(△)	7,185	△149,471

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:千円)

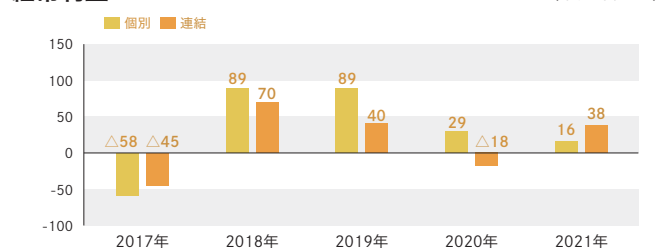
科目	当期 (2020年9月1日から 2021年8月31日まで)	前期 (2019年9月1日から 2020年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,540	56,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,561	△166,586
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,841	307,527
現金及び現金同等物に係る換算差額	323	1,429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△92,538	198,628
現金及び現金同等物の期首残高	2,500,968	2,302,339
現金及び現金同等物の期末残高	2,408,430	2,500,968

財務ハイライト

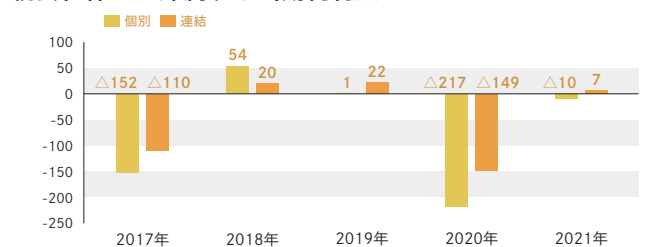
売上高 (単位:百万円)



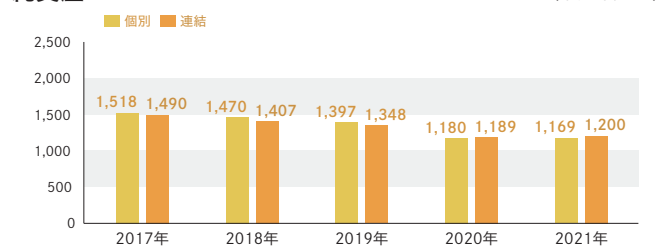
経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)



会社概要 (2021年8月31日現在)

商号 株式会社メディア工房
 所在地 〒107-0052
 東京都港区赤坂4-2-6 住友不動産新赤坂ビル12階
 TEL: 03-5549-1804 FAX: 03-3586-4480
 設立 1997年10月
 資本金 451百万円
 事業内容 デジタルコンテンツの制作、配信事業、eコマース等による物販事業
 従業員数 88名(連結)



株式関連情報 (2021年8月31日現在)

発行可能株式総数 45,200,000株
 発行済株式の総数 11,300,000株
 自己株式の総数 1,221,077株
 株主数 3,000名(前期末比 161名減)

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 11月
 基準日 8月31日
 公告方法 電子公告により当社ホームページ
 (https://www.mkb.ne.jp/) に掲載いたします。
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によっ
 て電子公告による公告をすることができない場
 合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話お問合せ) 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株主・投資家通信

2021年8月期 決算のご報告

2020年9月1日～2021年8月31日

証券コード: 3815

<https://www.mkb.ne.jp/>

Media Kobo, Inc.
 株式会社メディア工房

24

株主の皆様へ

はじめに

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々、そしてご遺族の皆様にご哀悼の意を表しますとともに、罹患されている方々や様々な影響により困難な状況におられる方々の一日も早い回復と、感染の早期収束を心よりお祈り申し上げます。

また、最前線で治療に尽力されている医療従事者の皆様をはじめ、感染症の収束に向けご尽力されているご関係者の皆様に、心から敬意を表し、深く感謝いたします。



株主の皆様へ

2021年8月期におけるわが国経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の蔓延を背景に、行政の要請に基づく外出自粛や休業が影響し、雇用、所得環境は厳しい状況となりました。ワクチン接種の拡大により一部欧米諸国においては景況感が好調の兆しを見せましたが、我が国を含むアジア諸国においては、未だ感染収束の見通しは立っておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは、既存事業の収益モデル再構築にあたり、古いコンテンツ事業とメディア事業を統合、新たにデジタルコンテンツ事業へとセグメントを変更し、既存コンテンツの運用強化による収益増及びヒットコンテンツを創出するための体制変更を進めてまいりました。

ゲームコンテンツ事業からの実質撤退による減少要因はありましたが、One to One事業の安定成長に加え、著名占い師を起用した新規コンテンツのヒットと運用強化が奏功し、売上高は前年同期比で増加いたしました。また、利益面においては、新規ユーザー獲得に向けた積極的な広告宣伝と、XR/SNS事業のシステム開発に係るソフトウェアの償却費負担の先行が利益を押し上げる要因となりましたが、売上高の増加に伴う利益増により予測を上振れて着地いたしました。

奇しくも新型コロナウイルスの流行は、結果として社会全体に「働き方」の変化を促しています。当社グループはこうした変化に柔軟に適応し、事業活動を通じて人々の生活をより豊かにできるようにいっそう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、相変わらぬ厳しくも温かなご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

長沢 一男

企業理念



テクノロジーは日々驚くべきスピードで世界的に進化し続けています。私たちはこうしたテクノロジーの進化こそが人々に新しいコミュニケーションをもたらすと信じています。

私たちのミッションは、デジタルコミュニケーションを通じて人々を心から楽しませ、不安や悩みを解決する一助となり、世界的に人々が豊かな人間関係を構築し社会がよりよくなるきっかけとなることです。

事業戦略 ― 既存事業の拡大と新規事業への投資 ―

当社グループは、デジタルコンテンツ事業及びOne to One事業を中心として安定的かつ長期的な収益を確保すると同時に、今後収益の拡大が見込めない事業分野からは撤退し、成長事業に積極的かつ継続的な投資を行うことで新たな収益の柱を育成し経営の多角化を推進いたします。

なお、2022年8月期においては、4つの事業に経営資源を集中し、業績及び時価総額の向上に努めてまいります。

収益事業

◆デジタルコンテンツ

著名占い師を監修者に迎えた新規コンテンツの制作強化及び運用効率化により、コンテンツあたりの売上利益の増加を図ってまいります。また、自社メディアの運営に関しましては、自社古いコンテンツへの送客の役割を強化すると同時に、自社メディア内における課金収入増を図ってまいります。



◆One to One Marketing

電話による直接鑑定やサービス提供強化による安定的な利益確保に努めるほか、自社アプリの新規ユーザー獲得及び配信プラットフォームの拡大に注力し、収益増を図ってまいります。



投資事業

事業内容の精査の結果、新型コロナウイルス感染症収束の見通しが難しい中、越境eコマース及び医療ツーリズム事業を中心とするインバウンド・アウトバウンド事業については、当面、事業成長が厳しい見込みであると判断し、当連結会計年度をもって撤退することを決定いたしました。

そのため、2022年8月期における投資事業は、下記2つの事業となります。

◆XR

自社独自開発のリアルタイム実写立体動画撮影技術「SUPERTRACK」を活用した撮影サービス、コンテンツ制作の受託の他、他企業とのIPアライアンス等を推進してまいります。



◆SNS

当社が開発する多機能的なWebコミュニケーションのためのソーシャルプラットフォーム（中期にはMR技術の活用を含む。）の運営及びサービス企画を行ってまいります。2022年8月期には自社によるSNSサービスを企画推進し、リリースする予定です。



財務諸表(個別)

貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (2021年8月31日現在)	前期 (2020年8月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,656,136	2,848,916
固定資産	417,827	360,399
資産合計	3,073,964	3,209,316
(負債の部)		
流動負債	1,182,956	1,165,022
固定負債	721,592	864,114
負債合計	1,904,548	2,029,136
(純資産の部)		
株主資本	1,169,415	1,180,180
純資産合計	1,169,415	1,180,180
負債純資産合計	3,073,964	3,209,316

損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (2020年9月1日から 2021年8月31日まで)	前期 (2019年9月1日から 2020年8月31日まで)
売上高	1,851,523	1,681,653
売上原価	999,210	867,286
売上総利益	852,312	814,367
販売費及び一般管理費	827,776	782,726
営業利益	24,536	31,641
営業外収益	5,635	9,256
営業外費用	13,339	11,878
経常利益	16,832	29,019
特別利益	—	66,530
特別損失	34,107	299,378
税引前当期純損失(△)	△17,275	△203,829
法人税、住民税及び事業税	11,156	1,122
法人税等調整額	△17,667	24,210
法人税等還付税額(△はプラス)	—	△12,036
当期純損失(△)	△10,764	△217,126